

# 議案質疑

「議案質疑」とは、町長から提出された議案の説明が行われた後、それぞれの議案の疑問点について提案者に質問することです。提案説明に含まれていない事柄についても質問することができます。

## ■ 一般会計補正予算 第6号

**問** 新型インフルエンザ予防接種補助金が1700万円ほど減っているが、接種した人数は。また、どのような啓発を行ったのか。

**答** 613人を接種予定としていましたが、接種者は322人でした。啓発については、いきいきカレンダーを通じて行いました。

**問** 予算が余るといっては周知不足や、受けにくいということがあったのでは。

**答** 新年度は周知の徹底を図り、また接種しやすい方法を検討します。

**問** 教育費で委託料が1529万円ほど減額になっているが、理由は。

**答** この減額は小学校4校、中学校1校、高校1校の耐震診断委託料の入札結果によるものです。

札残です。

**問** 保育所運営費負担金の他市町村分が521万円ほど減額になっている理由は。

**答** お尋ねの分は、他市町村の乳幼児の保育を鞍手町が受託しておこなう事業の分で、対象人数が16人から14人に減ったためです。

**問** 総合福祉センター使用料が900万円減になったのは、利用者の減によるものか。



利用者が減少している総合福祉センター福祉棟（風呂）の入口

**答** 総合福祉センター使用料の82%ほどを占めるのが風呂の利用料です。利用者が減ったため減収となりましたが、これは町外者の入浴料金を引上げたことが影響したと思います。

## ■ 谷山池バイブライン 特別会計補正予算 第6号

**問** 利子及び配当金の説明欄に「国債証券利子追加」となっているが、これは仕組債の利子ではないのか。なぜこのような表記になっているのか。

**答** 従前からの表記を使っています。実際は仕組債1億円に対する利子50万円です。表記については、今後検討します。

## ■ 平成22年度一般 会計予算

### ● 歳出

**問** 強制執行委託料があるが、これはどういうことか。

**答** 町営住宅入居者に悪質滞納者が数人おられます。その中の1件について、22年度強制執行を予定しています。

**問** 悪質滞納とはどのような場合なのか。また強制執行の身は。

**答** 家庭状況を十分把握した上で滞納者と協議を行い、支払い能力があるにもかかわらず支払わないという場合、最終手段として強制執行ということになります。予算は裁判所からの立会人、家財等の処分料等を予定として計上しています。

**問** 町例規集システム使用料が計上されている

が、例規集をホームページに掲載する予定は。 **答** 電算システムの入替えに併せて、例規集も載せる方向で考えています。



現在役場内で使用されている鞍手町例規集システム

**問** 人権推進事業で解放活動団体補助金など、団体補助金の今後の方向性は。また隣保館の各種教室講師謝礼、管理委託料などの説明を。

**答** 人権問題については今後も取り組んでいくことは変わりませんが、団体補助金については、今

後関係者と協議をしています。隣保館の講座は県の補助対象事業の中で行っていますので、中身については十分協議をしていきます。また管理については、過去に管理人をおいていたことから今の内容になっていますが、中身を十分吟味し、検討していきます。

**問** 総合福祉センター修繕料の中身は。「食の自立支援事業」は町単独事業か補助事業なのか。また、児童福祉施設費が大きく増えている理由は。  
**答** 修繕料は、急を要する修繕が発生した時に対応するための予算計上です。「食の自立支援事業」は補助事業ですが、一部が単費です。

児童福祉施設費の増加は、児童数増に伴う嘱託保育士賃金の増、保育所の畳購入、私立保育所運営費の増加などが大きな原因です。なお、民間が

行う延長保育、一時預かりについては自治体が一歩負担することになっています。

**問** 「緊急雇用創出事業臨時特例基金事業」と「ふるさと雇用再生特別基金事業」の割り当て額及び中身は。  
**答** 「緊急雇用」の配分額は約2800万円です。中身は、町役場の臨時職員、道路パトロールなどを予定しています。「ふるさと」の配分額は約1100万円です。これは民間企業等に委託し、雇用された人員の費用に充てることになっています。22、23年度が補助対象で、それ以降も雇用してもらうことを条件に、鞍手町商工会に委託します。

**問** 産業まつり補助金があるが、今後どのような方向性なのか。

**答** 昨年は4千人ほど来場者がありました。集客力があることから、今後はまつりのブランド化を目指し、かつ他のイベントとの同時開催などを検討し、継続することになっています。



ブランド化を目指し、産業まつりは継続されます

場合、生徒が特定できない分は教育委員会で修繕することを全学校に対し周知徹底しています。

**問** 公民館の長谷別館、総合プールは、外部評価の結果休廃止となっているが、なぜ維持管理の経費が計上されているのか。  
**答** 町としても外部評価の結果を尊重し、廃止の方向で調整しています。ただ、現在利用者もあり、廃止までの間の経費として計上しています。

**問** 以前中学校の窓ガラス等破損の修繕に校納金を使うことは是非について指摘したが、その後どうなっているのか。  
**答** 備品や施設を破損し

**問** 22年度予算は骨格予算だが、地方交付税等はどうのような考え方で計上しているのか。

### ●歳入

**問** 国は増額予算をきめています。また調整中のものもあり、今後補正で減額していくものも出てくる予定ですので、9月の時点で額が確定すると思えます。  
**問** 福祉センター使用料を900万円減額計上しているが、増収のためにも条例の改正を考えるべきでは。  
**答** 昨年の条例改正により利用者は減りましたが、費用対効果やモラルの向上などを考えれば、現時点では条例を改正する必要はないと思っています。

### ●全般

**問** 当初予算の中で、外部評価の結果は反映されているのか。反映されているなら、その削減額は。  
**答** 当初予算の段階では事業費で669万円、人件費で68万5千円、計735万5千円を削減しています。まだ調整中のものもあり、今後補正で減額していくものも出てくる予定ですので、9月の時点で額が確定すると思えます。

**問** 外部評価を早めに行い、23年度は当初予算の中で削減すべきだと思いが。  
**答** 22年度の評価は早めに取り組み、23年度の当初予算に反映したいと思っています。

**問** 町財政のバランスシートを作成し、財政状況を分かりやすく、明らかにするようになっていたが実施は。  
**答** 22年度中にバランスシートを作成する方向で、現在進めています。

## ■ 後期高齢者医療 特別会計予算

**問** 後期高齢者医療保険料と広域連合納付金が大幅に減となっているが、理由は。

**答** 昨年の当初予算の際に、広域連合が鞍手町の被保険者数を550人ほど多く誤って試算していました。21年度中には正しい数に直されています。今回正しい被保険者数になったため、昨年当初と比較して大きな減額となっています。それと不況による所得の減少が理由です。

## ■ 住宅新築資金等 特別会計予算

**問** 貸付金回収金は、その年の回収予定分だけのようだが、滞納分全部を回収する予定として計上すべきでは。

**答** 予算は調定額を計上

しないで、収入見込み額を計上することになっており、過去3年間の平均を計上しています。

**問** 早く回収を終えてこの予算をなくすべきだと思いが。

**答** ほとんどが償還期間を過ぎていたので早く回収をとということですが、分割納付をされています。ただ、1回の額が少ないので、債務者と交渉して金額を増やしていきたいと思えます。

## ■ 公共下水道事業 特別会計予算

**問** 受益者負担金が増えてきているので整備も進んでいると思うが、計画に対する現在の状況と、今後の計画は。

**答** 21年度までの普及率は30・5%です。22年度以降、い牟田区内及び小牧、今村方面の工事を

中心に進めていく計画です。



平成22年度下水道工事計画予定箇所図

**問** 住民側の準備等もあるので、このくらいの年度にはこの地域の整備をするということは、知らせるべきでは。

**答** 計画は10年毎に見直しており、現在の計画は37年までの分です。その先については、補助事業で行っていますので、国の認可を受けた区域から整備を進めていきます。数年先までの計画であればお知らせできるので、広報等を使って住民に周知します。

## ■ かんがい施設 特別会計予算

**問** 修繕料5300万円の内容は。

**答** 古門排水機場の空気弁と手動弁、新川排水機場の1号ポンプ整備及び真空ポンプ更新、新北排水機場の1号ポンプ整備です。

**問** ポンプの老朽化により近年高額な修繕料が計上されているが、今後の修繕、整備の計画は持っているのか。

**答** 11基設置してあるポンプの修繕、整備については、22年度から4年間で、緊急性の高いものから順次取り組むよう計画しています。

## ■ 水道事業会計予算

**問** 浄水場改良工事の工事期間の用途は。

**答** 22年度と23年度で、

前処理施設、急速ろ過施設、排水処理施設の工事を行う予定です。

**問** 水道料金を上げる際は、これだけ工事に掛かったから料金を上げるというのではなく、事前に水が変わることを知らせ、値上げに対して町民の感情が緩和できるようにすべきと思いが。

**答** 施設を改良して、おいしい水を提供したいと思っています。料金の見直しをする時には、町民の皆様には、ご理解していただけるようにしたいと思います。

**問** 水道事業収益が前年比で1044万9千円減になっている理由は。

**答** 人口減に伴い給水量が減っているのが原因だと思います。



22、23年度で改良工事が行われる浄水場

**問** これまでの利益剰余金も徐々に減って値上げも必要になると思うが、工事完了までは上げることはないという認識でいいのか。

**答** 工事が終わらないとその経費は分かりません。工事が終わってから、水質検討委員会で検討されると思います。